

「させぼ温州」の結果母枝の長さに着花及び結実性

[要約]「させぼ温州」では、長さが15cm 程度の結果母枝に有葉花が着生しやすく、結実率が高くなる傾向にある。長さが10cm 未満の結果母枝には直花が着生しやすいが、生理落果が多い傾向にある。

長崎県果樹試験場・常緑果樹科

専門

栽培

対象

果樹類

分類

指導

[背景・ねらい]

佐世保地域で「宮川早生」の枝変わりとして発見された「させぼ温州」は、着花及び結実が不安定であるため、結実を促す技術の開発が必要である。そこで、生理落果の発生機構や結果習性を明らかにし、技術開発の参考に資する。

[成果の内容・特徴]

- ①15cm 程度の結果母枝は、10cm 未満の結果母枝に比べ、有葉花の着生する割合が高く、10cm 未満の結果母枝は直花の着生が多い。(表1、2)。
- ②花の種類別では、有葉花は生理落果が少なく結実しやすいが、直花は生理落果が多く、結実率が低い(表1、2)。
- ③調査園の中では、若木は、高接ぎ樹に比べ、生理落果が多く結実率が低い(表1、2)。

[成果の活用面・留意点]

- ① 15cm 程度の結果母枝の発生を促し、有葉花が着生するような、肥培管理法及び整枝せん定技術の確立が必要である。

[具体的データ]

表1 結果母枝の長さとは着花・結実性

(2000年)

調査樹	結果母枝の種類	直花数 (個)	有葉花数 (個)	全花数 (個)	結実率			結実数 (個)
					直花 (%)	有葉花 (%)	全体 (%)	
H高接ぎ	長い結果母枝 <sup>γ</sup>	1.9	5.0	6.9	17	27	26	1.8
	短い結果母枝 <sup>α</sup>	10.8	5.3	16.1	9	28	18	2.9
E若木	長い結果母枝	0.4	5.9	6.3	0	4	4	0.3
	短い結果母枝	5.5	8.1	13.6	1	3	3	0.4
E高接ぎ	長い結果母枝	0.6	3.8	4.4	10	45	43	1.9
	短い結果母枝	9.7	4.9	14.6	4	19	11	1.6
原口早生	平均的結果母枝	7.2	3.2	10.4	8	25	13	1.4

<sup>α</sup> 7月20時点の生理落果後の結実数

<sup>γ</sup> 15cm 程度の結果母枝

<sup>α</sup> 10cm 未満の結果母枝

表2 結果母枝の長さとは着花・結実性

(2001年)

調査樹	結果母枝の種類	直花数 (個)	有葉花数 (個)	全花数 (個)	結実率			結実数 (個/枝)
					直花 (%)	有葉花 (%)	全体 (%)	
H高接ぎ	長い結果母枝 <sup>γ</sup>	5.0	2.0	7.0	5	35	34	2.4
	短い結果母枝 <sup>α</sup>	4.3	0.8	5.1	13	11	18	0.9
E若木	長い結果母枝	3.8	8.2	12.0	8	11	8	1.0
	短い結果母枝	8.4	0.9	9.3	2	0	2	0.2

<sup>α</sup> 7月20時点の生理落果後の結実数

<sup>γ</sup> 15cm 程度の結果母枝

<sup>α</sup> 10cm 未満の結果母枝

[その他]

研究課題名：させぼ温州の早期樹冠拡大と高品質果実安定多収生産技術

予算区分：県単

研究期間：平成13年度（平成11～15）

研究担当者：高見寿隆、古川忠

発表論文等：なし